

報知 高校野球

March 2020
900yen



92nd 2020 **ぜんげ** BATTLE STUDIES パーフェクトガイド

出場32校選手名鑑&戦力分析+大会展望

自分で書き込んで完成させるトーナメント

令和最初の球春トーク

明石商	中森	来田	
中京大中京	高橋	印出	中山
東海大相模	西川	山村	鶴沼
天理	河西	瀬	

Interview

県岐阜商	鍛冶舎 巧	監督
鹿児島城西	佐々木 誠	監督

sub特集

公立魂 2020



オーストラリアに遠征した選抜3チームとアデレード・ジャイアンツとの交流戦は、4チームによるリーグ戦形式で、日本の3チームは準硬式球を、ジャイアンツは硬式球を使用。パワーを生かし初球から積極的に打ってくるジャイアンツに対し、日本の3チームは走塁、バントを駆使した。スモールベースボールを展開

開。神奈川は2-12、東京六大学は2-10で敗れたが、関東は7-3で勝利し意地を見せた。
関東の山口雄大主将③(中大・佐賀商)は「貴重な体験ができてよかったです。関東の準硬式がレベルアップしたと思うので、今後の大会が楽しみです」と春季リーグ戦を見据えている。

東京六、神奈川、関東 豪プロ球団と交流戦



世界の「JUNCO」へ。東都大学連盟の選抜チームが2019年11月12~24日、インドネシア、フィリピンを訪れて親善試合、野球教室を行った。東京六大学連盟、神奈川大学連盟、関東地区大学連盟(東京六、東都、神奈川、北関東、新関東)の各選抜チームは同12~18日、オーストラリアに渡りプロ球団アデレード・ジャイアンツとの交流戦、野球教室で準硬式の普及、発展に貢献した。

東都選抜 東南アジア遠征



東都連盟のインドネシア遠征は4度目で、初めてフィリピンでも親善試合、野球教室を実施した。最初の1週間はインドネシアのジャカルタ、バリ島に滞在。インドネシア代表と1試合、ジャカルタ州選抜と2試合して、いずれも大勝した。東都選抜メンバー18人の多くが小学校で野球を始めて強豪高校でプレーしていたのに対し、対戦相手は野球経験の浅い選手がほとんどだが、選抜チームを率いて毎年遠征している杉山智広

監督(36日大コーチ)は「平均的なレベルは私たちがインドネシアでの活動を始めてから確実に伸びています」と成長ぶりに目を細めた。公園や小、中学校で遊ぶ子供をターゲットにした「野球キャラバン」も実施。野球未経験の子供たちに、遊びの要素を取り入れながら親しんでもらった。フィリピンでは同国代表、大学など6チームと対戦。セレモニードではドウテルテ大統領、プロボクシングで史上2人目の6階級制覇を果たしたパッキヤオ上院議員から祝福のメッセージが寄せられるなどの歓迎ぶりだった。試合は代表に6-2、9-3で勝利するなど全勝。杉山監督は「負けてもおかしくない緊張感のある試合でした」と振り返った。「(現地の子供が)野球を心の底から楽しめ、上達したい一心で取り組んでいる姿を見て、力になりたいと感じ、逆に野球の原点を教えるも

逆になりました」と五十嵐健主将④(専大・常総学院)は選手のみならず指導者の育成にも力を入れ、アジア全体に野球の輪を広げている。



東都選抜メンバーとフィリピンの野球少年ら